

第5回

旭区中宮・太子橋地域史づくり

ワークショップ・ニュース

平成19年11月22日(木)に中宮と太子橋のオリジナルの地域史作成を目的としたワークショップの第5回を開催しました。

このワークショップは、地域史の作成を通じて、これまで積み重ねてきた経験等を活かした人材の育成、コミュニティのさらなる向上を目指すものと考えています。

5回目となる本ワークショップでは、前回の太子橋フィールドワーク時に質問のあった内容について参加者の方にご説明して頂きました。

そして、これまでの経過をふまえて、テーマとして取り上げたい内容と、そのテーマについて担当してみたい項目について検討して頂きました(史実研究、コラム作成、写真撮影など)。

<質問の内容>

【太子橋東部のギザギザ境界はなぜ?】

【豊里という地名はどこから?】

【^{へいた}平田の渡し~平田って地図には載っていないけど、どこにあるの?】

また、戦時中の空襲について、その当時の状況なども話し合いました。旭区は、約3割強が空襲によって焼けたそうです。歴史を記した文献、史実とともに、実際に体験された状況などは、後世に地域の歴史を伝えていく上で重要な意見・コメントになります。



●ワークショップの様子

お知らせ これまでの取り組みをお伝えする「成果発表会」の開催を予定しています。

昨年の中宮・古市、そして今年の中宮・太子橋を対象としたワークショップの取り組み内容を、皆様にお伝えする成果発表会の開催を予定しています。

詳しい内容が決まりましたら、広報あさひなどを通じて、皆様にお知らせいたします。

次回、第6回ワークショップは、平成20年1月29日(火)に開催します。

本内容に関するお問い合わせは
大阪市旭区役所区民企画担当まで
tel06 (6957) 9734

大宮版と古市版の
オリジナル地域史が
完成しました!

ご協力いただいた
皆様ありがとうございました!

